

少額物品システムのJava ポリシー
設定マニュアル
I Cカードをお持ちでない事業者向け

第2.0版

令和元年 5 月

目 次

第 1 章	はじめに	1
1.1	少額物品システムを利用するために	1
1.2	Java ポリシーを設定するまでの流れ	2
第 2 章	Java ポリシーを設定する前に	3
2.1	前提条件の確認	3
2.2	ブラウザバージョンの確認方法	3
2.3	JRE のバージョンの確認方法	4
第 3 章	JRE の新規ダウンロード (ケース)	8
3.1	JRE の新規ダウンロード	8
第 4 章	JRE の最新版ダウンロード (ケース)	9
4.1	JRE の最新版ダウンロード	9
第 5 章	JRE のアンインストール (ケース)	11
5.1	JRE のアンインストール	11
第 6 章	JRE のインストール (ケース)	15
6.1	JRE のインストール	15
第 7 章	JRE の例外サイト・リストの設定 (ケース)	18
7.1	例外サイトリストへの登録	18
第 8 章	Java ポリシー設定ツールのダウンロード (ケース)	21
8.1	Java ポリシー設定ツールのダウンロード	21
第 9 章	Java ポリシーの設定 (ケース)	24
9.1	Java ポリシーの設定	24

第 1 章 はじめに

1.1 少額物品システムを利用するために

少額物品システムをご利用いただくためには、ご使用になるパソコンに **Java Runtime Environment** (以下「JRE」といいます。)のインストールと、Java ポリシーの設定を行う必要があります。

ICカードをお持ちでない方が少額物品システムを御利用になる場合のみ、本書の設定を実施してください。

既に IC カードをお持ちで電子入札システムにログインできる方は、本書の設定は不要です。改めて設定を行うことなく、IC カードで少額物品システムにログインできます。

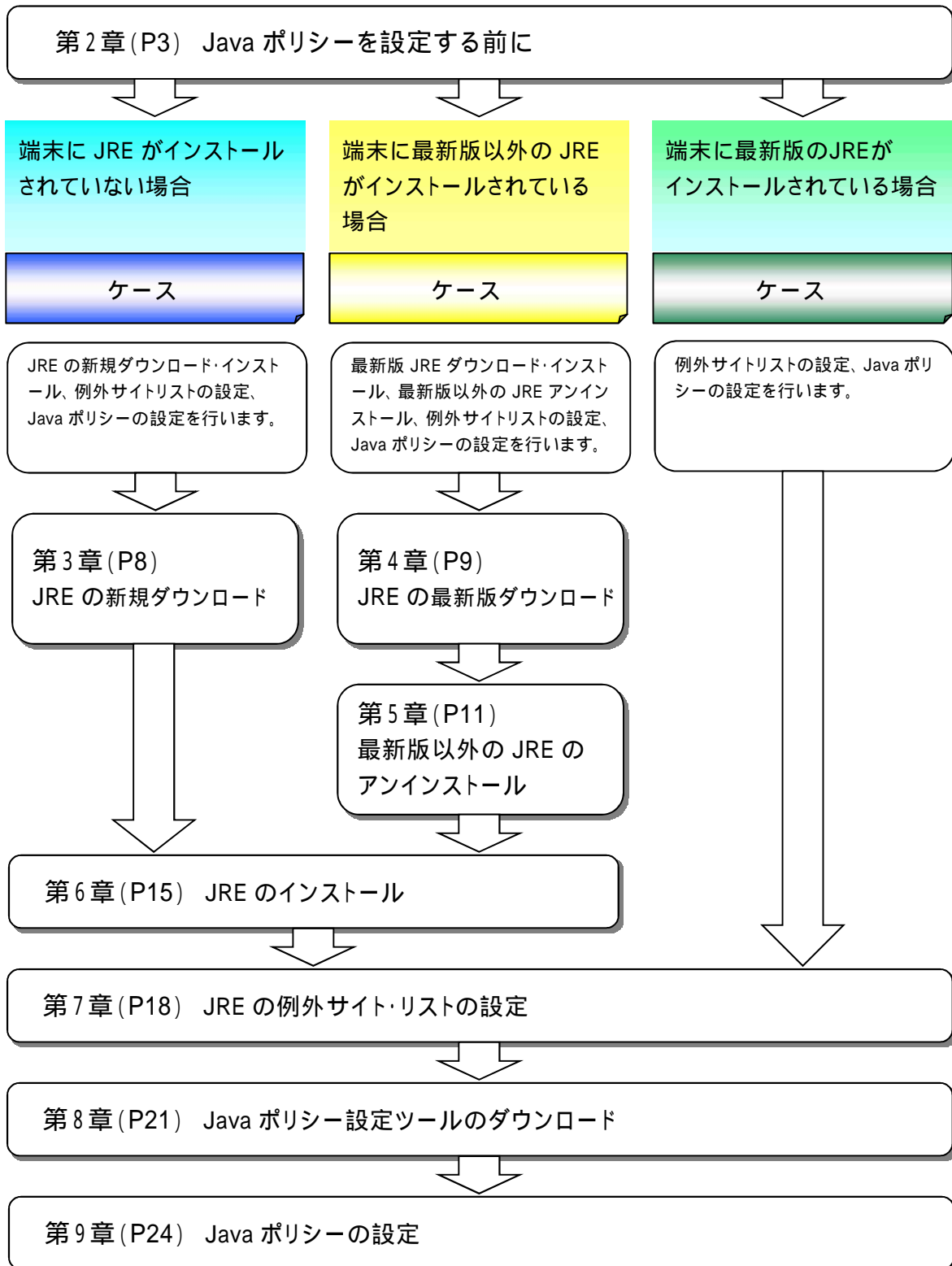
なお、ICカードをお持ちで Java ポリシーの設定を行っていない場合は、ICカードを購入した民間認証局の案内を御確認の上、設定を行ってください。

JRE は 2019 年 1 月をもってオラクル社の無償アップデートのサポートが終了となりましたが、電子入札システムにおいてサポート対象となる最新版の JRE は、JACIC の専用ホームページから無償で入手することができます。

入手方法は本書に記載しておりますが、初めて電子入札システムを利用する (JRE を持っていない) 場合と、JRE の最新版を入手する場合は異なりますのでご注意ください。

1.2 Java ポリシーを設定するまでの流れ

まず、ご使用になるパソコンの環境を確認してください。パソコンの環境により、設定する手順が異なります。パソコンの環境については、電子入札システムの動作環境を別途ご確認ください。



第 2 章 Java ポリシーを設定する前に

2.1 前提条件の確認

電子入札システムに対応している OS やブラウザ、JRE のバージョン等については、電子入札システムの動作環境を別途ご確認ください。

2.2 ブラウザバージョンの確認方法

ブラウザのバージョンは次の手順で確認できます。

Step 1 Internet Explorer を起動し、「ヘルプ」メニューから「バージョン情報」を選択します。

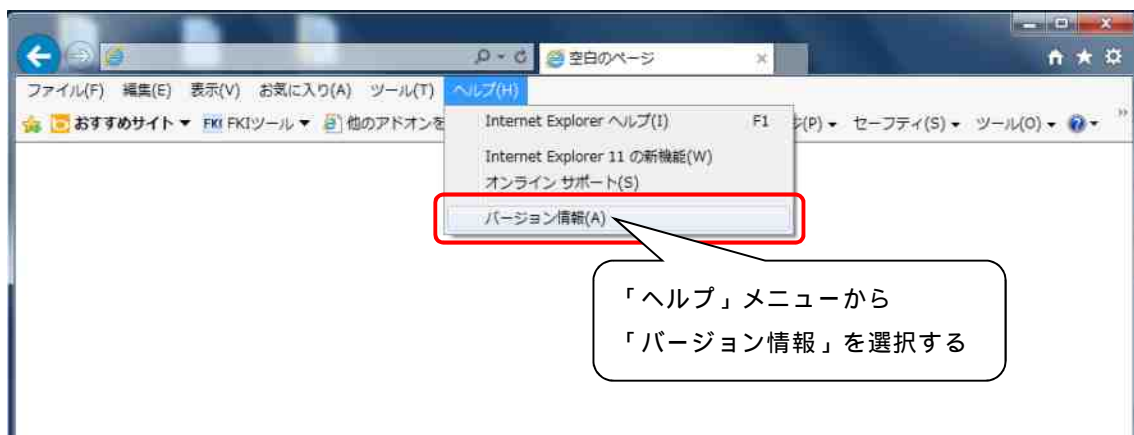


図2-1 Internet Explorer のバージョン確認

Step 2 「Internet Explorer バージョン情報」でバージョン情報を確認します。



図2-2 Internet Explorer のバージョン情報確認画面

2.3 JRE のバージョンの確認方法

ご使用になるパソコンに、既に JRE がインストールされている場合は、以下の方法で JRE のバージョンを確認してください。

電子入札システムに対応しているバージョンに関しては、電子入札システムの動作環境を別途ご確認ください。

Step 1 スタートメニューから「コントロールパネル」を開きます。

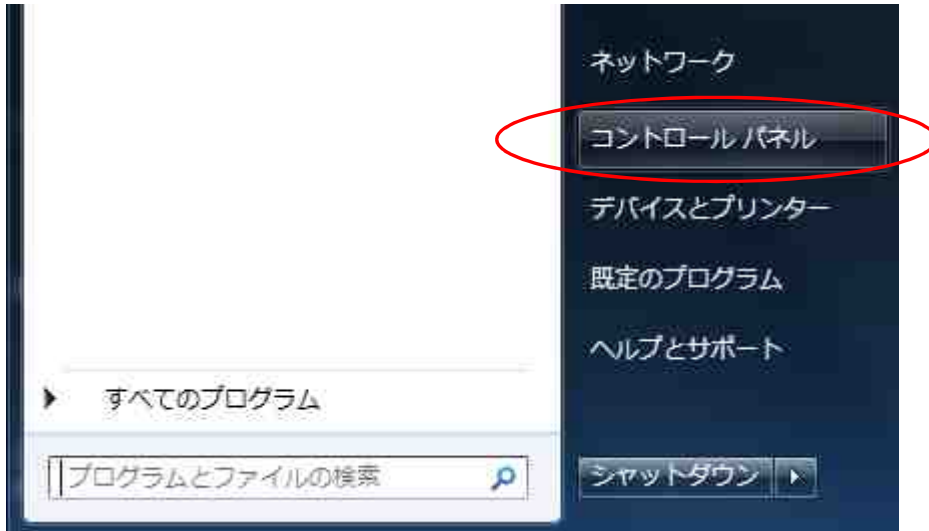


図2-3 スタートメニュー画面

Step 2 表示方法が「カテゴリ」の場合、プログラムをクリックします。
表示方法が「大きい(小さい)アイコン」の場合は Step4 からご参照ください。



図 2-4 コントロールパネル画面 (カテゴリ表示)

Step 3

「Java」をクリックし、Java コントロールパネルを開きます。
次の操作は Step5 からご参照ください。

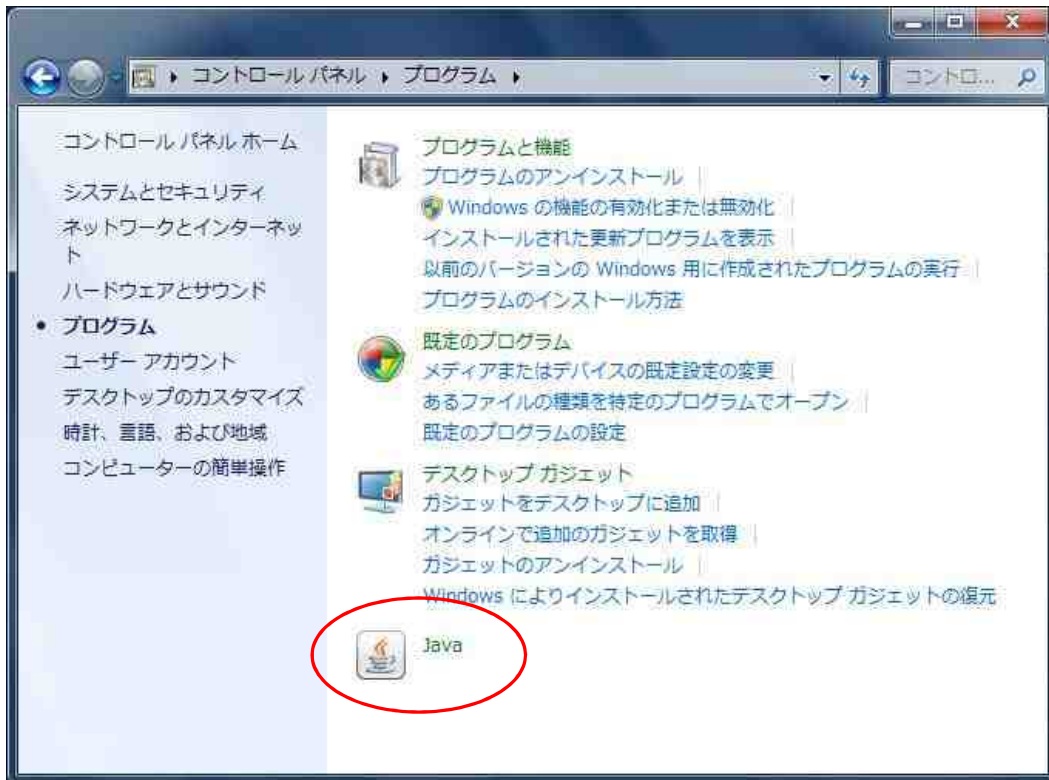


図 2-5 プログラム画面

Step 4

表示方法が「大きい(小さい)アイコン」の場合、「Java」をクリックし、Java コントロールパネルを開きます。



図 2-6 コントロールパネル画面(アイコン表示)

Step 5

「Java コントロールパネル」が表示されたら、「バージョン情報」をクリックします。

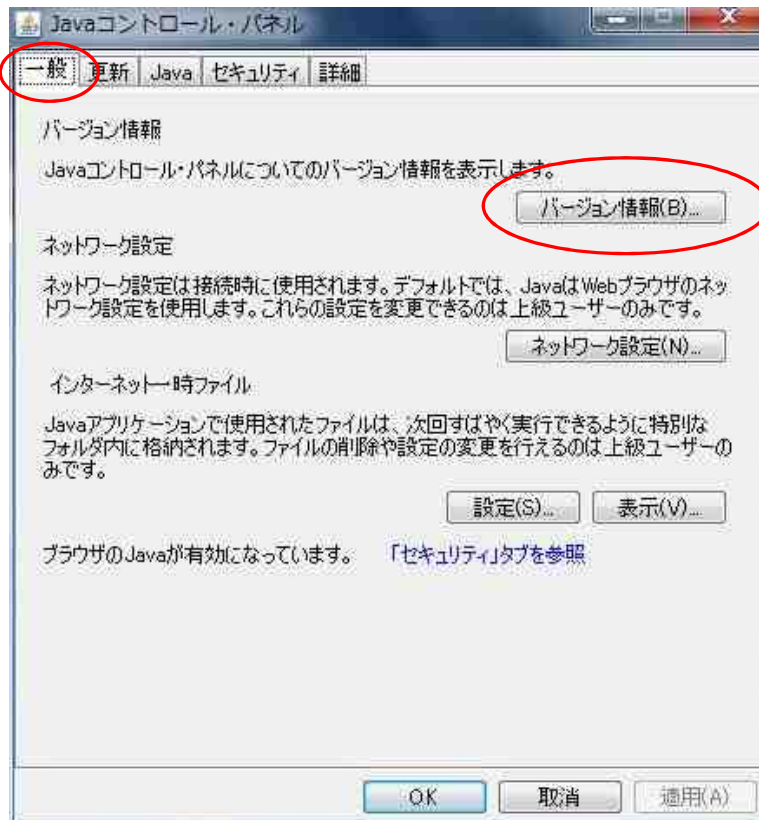


図2-7 Javaコントロールパネル画面

Step 6

「Java について」画面で、JRE のバージョンを確認することができます。



図2-8 Javaについて画面

「JRE」のバージョン確認は以上で完了です。

ケースごとに、次の章へ進んでください

ケース	端末にJREがインストールされていない場合	第3章へ
ケース	端末に最新版以外のJREがインストールされている場合	第4章へ
ケース	端末に最新版の Java ランタイムがインストールされている場合	第7章へ

第3章 JRE の新規ダウンロード（ケース ）

ご使用になるパソコンに JRE がインストールされていない場合は、JACIC の専用ホームページから JRE をダウンロードし、インストールする必要があります。

ダウンロードするためには、千葉県電子自治体共同運営協議会に申請を行い、専用ホームページの URL、ログイン用 ID 及びパスワードの発行を受ける必要があります。

申請の方法については、千葉県電子自治体共同運営協議会にお問い合わせください。

発行までには数日を要しますので、ダウンロードが必要な場合は早めに申請を行ってください。

3.1 JRE の新規ダウンロード

Step 1

専用ホームページに接続し、リンク先の利用規約に同意します。
その後、提供された ID 及びパスワードにてログインしてください。

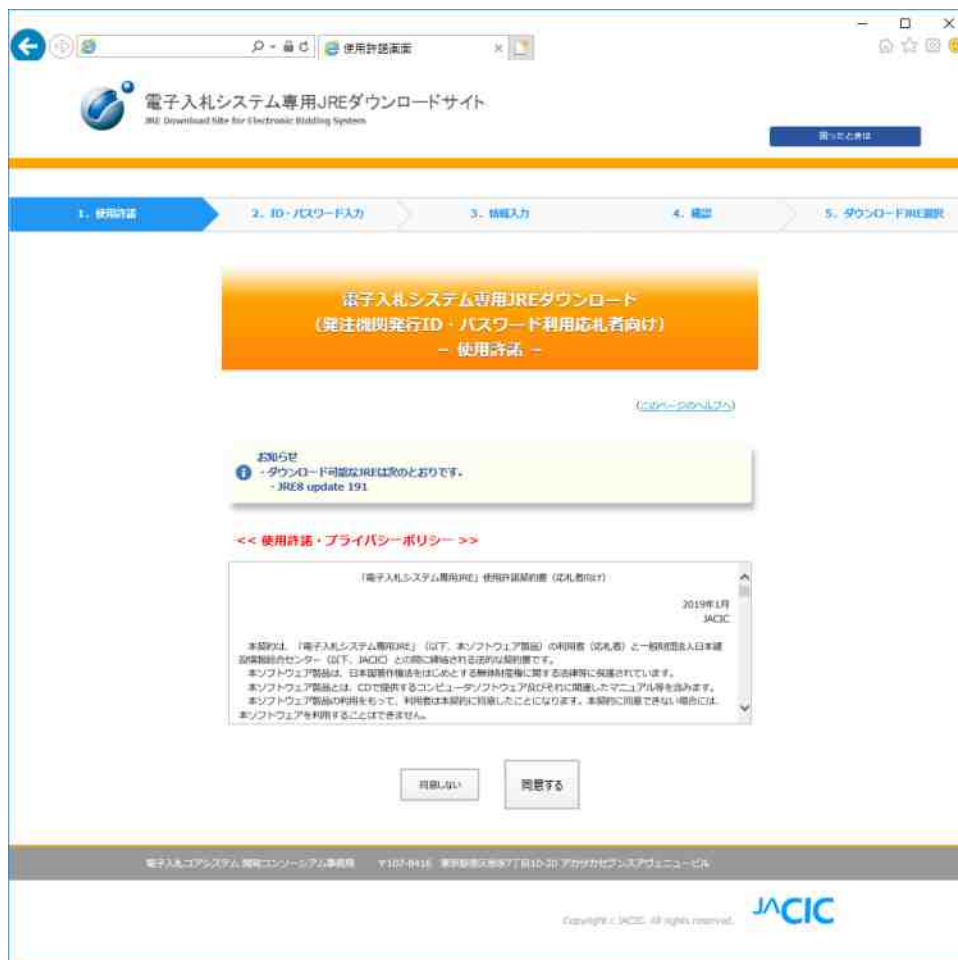


図3-1 電子入札システム専用JREダウンロード(発注機関発行ID・パスワード利用者向け)

上記画面以降、JACICのサイトとなるため、
詳細手順については、各ページにあるヘルプを参照ください。
ダウンロードが完了しましたら、第6章へお進みください。

第 4 章 JRE の最新版ダウンロード (ケース)

最新版の JRE は、JACIC の専用ホームページからダウンロードします。
なお、IC カードをお持ちの場合は、本書の設定ではなく、IC カードを購入された民間認証局の案内を御確認ください。

4.1 JRE の最新版ダウンロード

Step 1

電子入札システム「少額物品」に ID パスワードにてログインします。



図 4-1 ちば電子入札システム少額物品 ID / パスワードログイン画面

Step 2

画面右上の「電子入札システム専用 JRE ダウンロードサイトへのリンク」をクリックします。
【注意】 IC カードでログインした場合、リンクは表示されません。



図 4-2 ちば電子入札システム少額物品 調達案件一覧画面

Step 3

リンク先の利用規約に同意します。
その後、画面に表示されている必要な情報を入力します。

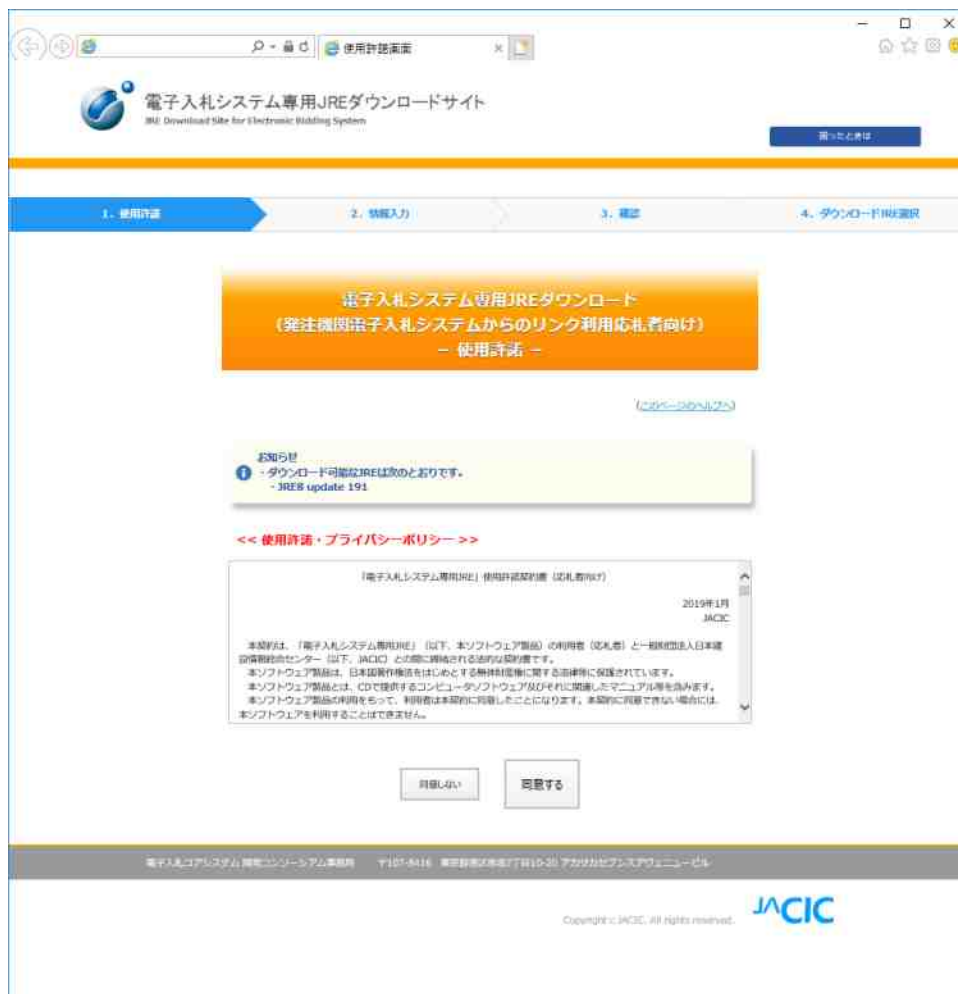


図 4-3 電子入札システム専用 JRE ダウンロード(電子入札からのリンク利用者向け)

上記画面以降、JACICのサイトとなるため、
詳細手順については、各ページにあるヘルプを参照ください。
ダウンロードが完了しましたら、第5章へお進みください。

第 5 章 JRE のアンインストール (ケース)

ちば電子調達システムが対応していないバージョンの JRE がすでにインストールされている場合に、Java の競合を避けるため、すでにインストールされている JRE を削除していただくものです。

なお、すでにインストールされている JRE を他のシステム等で使用している場合、削除することにより影響を及ぼす可能性があります。

削除作業はご自身の責任で行ってください。削除作業を起因とする誤作動・不具合やそれらに限らない損害および障害は、一切その責任は負いかねますので、ご了承ください。

すでにインストールされている JRE を削除できない場合は、別のパソコンで電子入札システムをご利用ください。

5.1 JRE のアンインストール

Step 1

スタートメニューから「コントロールパネル」を選択します。

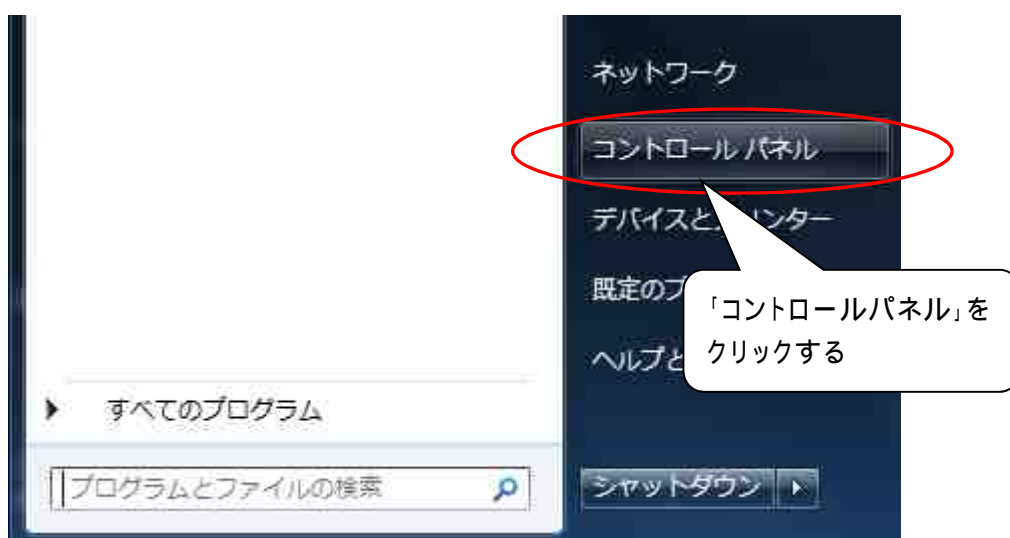


図5-1 スタートメニュー画面

Step 2

表示方法が「カテゴリ」の場合は「プログラムのアンインストール」をクリックしてください。(図 5-2)
表示方法が「大きい(小さい)アイコン」の場合は「プログラムと機能」をクリックしてください。(図 5-3)

表示方法が「カテゴリ」の場合

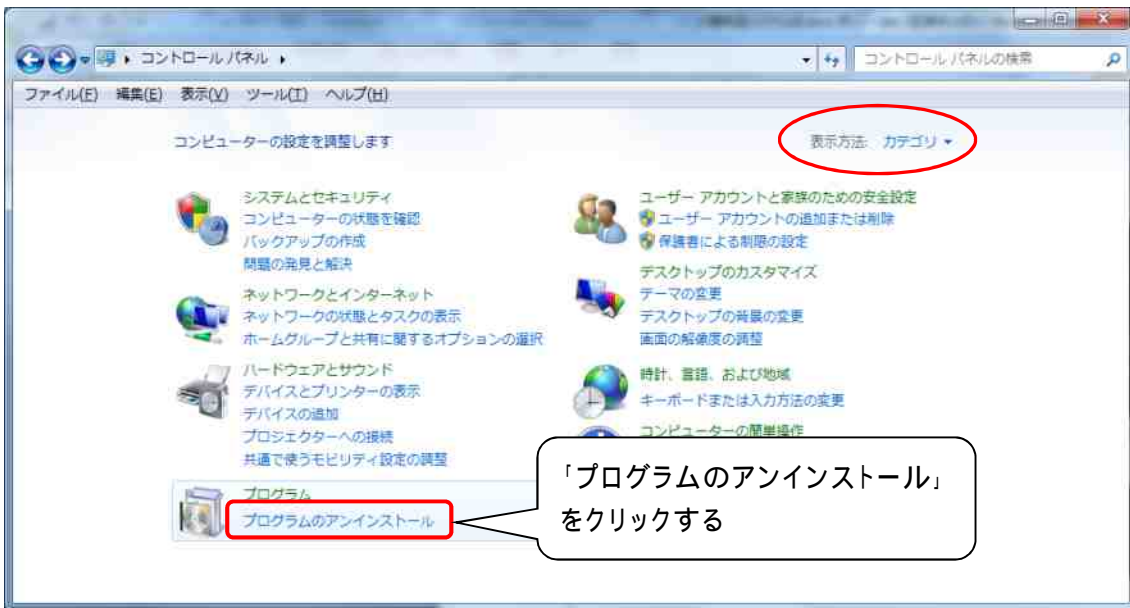


図5-2 コントロールパネル画面(カテゴリ表示)

表示方法が「大きい(小さい)アイコン」の場合

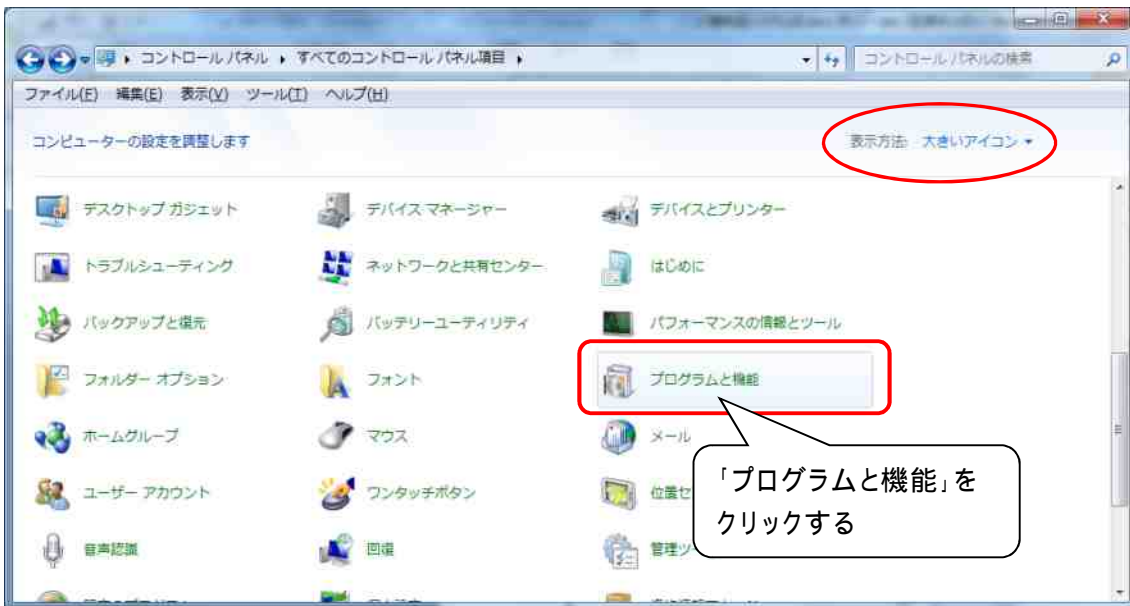


図5-3 コントロールパネル画面(アイコン表示)

Step 4

削除する「Java ……」をクリックで選択します。
(画面上に表示されていない場合は、スクロールして表示してください。)
「アンインストール」というボタンが表示されるので、これをクリックします。

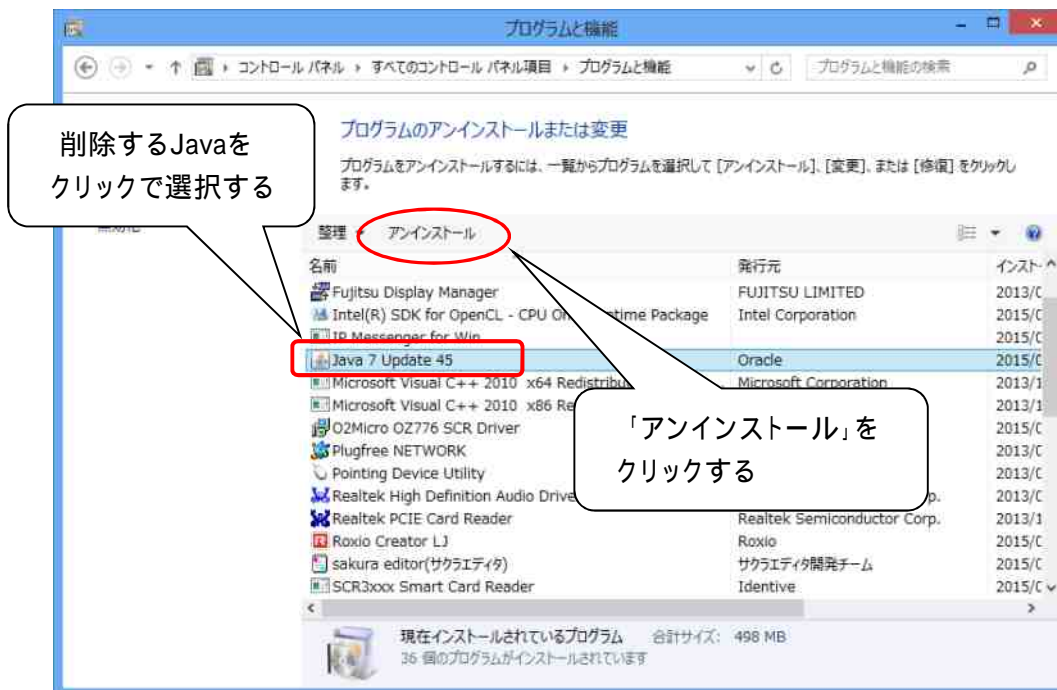


図5-4 「プログラムのアンインストールまたは変更」画面

Step 5

「プログラムと機能のアンインストール」画面で「はい」ボタンをクリックすると、
選択した Java のアンインストールが始まります。

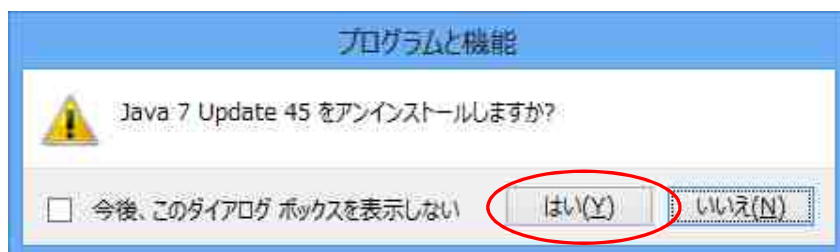


図5-5 プログラムと機能のアンインストール画面

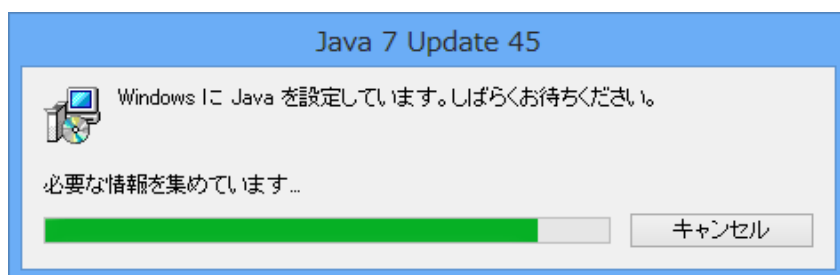


図5-6 アンインストール中の画面

Step 6

選択した Java のアンインストールが終了すると、アンインストール画面は自動で閉じます。
複数の Java を削除する必要がある場合は、同様の手順で削除する Java のアンインストールを繰り返してください。
アンインストールが終わりましたら、「プログラムの追加と削除」画面は右上「×」ボタンをクリックして閉じてください。

第 6 章 JRE のインストール (ケース)

ご使用になるパソコンに JRE がインストールされていない場合には、JRE をインストールする必要があります。

6.1 JRE のインストール

Step 1

第 3 章 step2 又は第 4 章 step3 でダウンロードした JRE ファイルをダブルクリックしてください。「Java セットアップ - ようこそ」画面が表示されるので、「インストール」ボタンをクリックしてください。



図6-1 Javaセットアップ - ようこそ画面

Step 2

インストールが開始されると「Java セットアップ - 進行中」画面が表示され、インストールの進捗状況が表示されます。



図6-2 Javaセットアップ - 進行中画面

Step 3

JRE のインストール処理が完了すると「Java セットアップ - 完了」画面が表示されます。これでインストール処理は終了です。



図6-3 Javaセットアップ - 完了画面

Step 4

次に、JRE の設定変更を行います。スタートメニューから「コントロールパネル」を開き、「Java」をクリックして「Java コントロールパネル」を起動してください。「Java コントロールパネル」の起動方法は、「第2章 2.3 JRE のバージョンの確認方法」を参照してください。

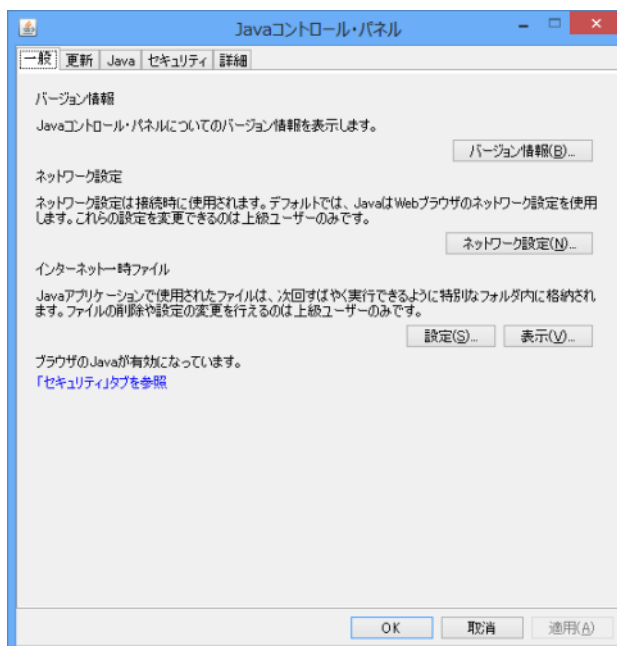


図6-4 Javaコントロールパネル画面(一般タブ)

Step 5

「Java コントロールパネル」の「更新」タブをクリックし、「更新を自動的にチェック」のチェックを外してください。

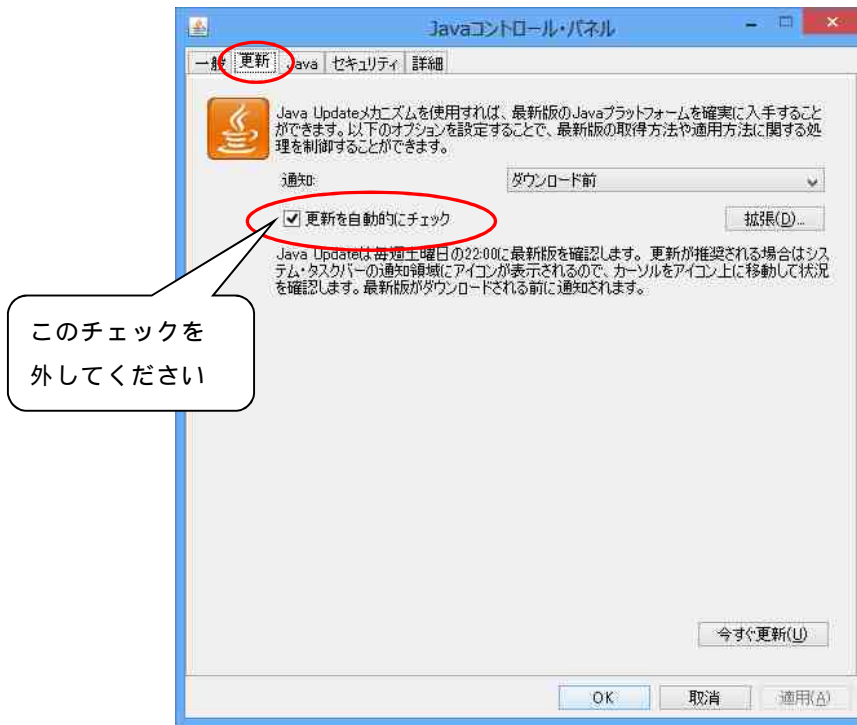


図6-5 Javaコントロールパネル画面 (更新タブ)



管理者権限のないユーザは、Java コントロールパネルを以下の方法で開くとチェックを外すことができます。

Cドライブの[Program Files]-[Java]-[(バージョン番号)]-[bin]にある「javacpl.exe」を右クリックし、「管理者として実行」を選択する。



チェックを外そうとすると以下の警告が出ますが、「チェックしない」をクリックしてください。



図 6-6 警告画面

Javaコントロールパネルは閉じずに、第7章 7.1 step2へお進みください。

第7章 JRE の例外サイト・リストの設定 (ケース)

JRE の例外サイト・リストに電子入札システムの URL を追加します。

7.1 例外サイトリストへの登録

Step 1

スタートメニューから「コントロールパネル」を開き、「Java」をクリックして「Java コントロールパネル」を起動してください。

「Java コントロールパネル」の起動方法は、「第2章 2.3 JRE のバージョンの確認方法」を参照してください。

Step 2

「Java コントロールパネル」の「セキュリティ」タブを選択し、「サイト・リストの編集」ボタンをクリックしてください。

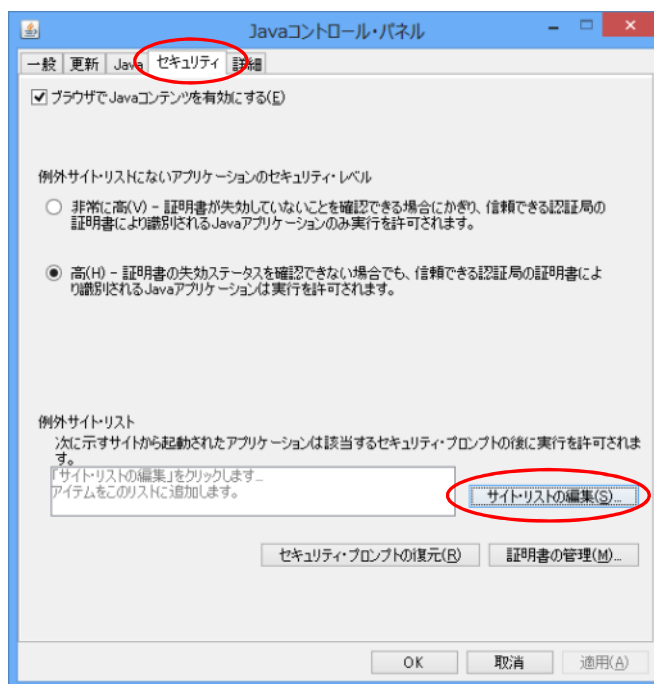


図7-1 Javaコントロールパネル画面 (セキュリティタブ)

Step 3

「例外サイト・リスト」画面の「追加」ボタンをクリックしてください。

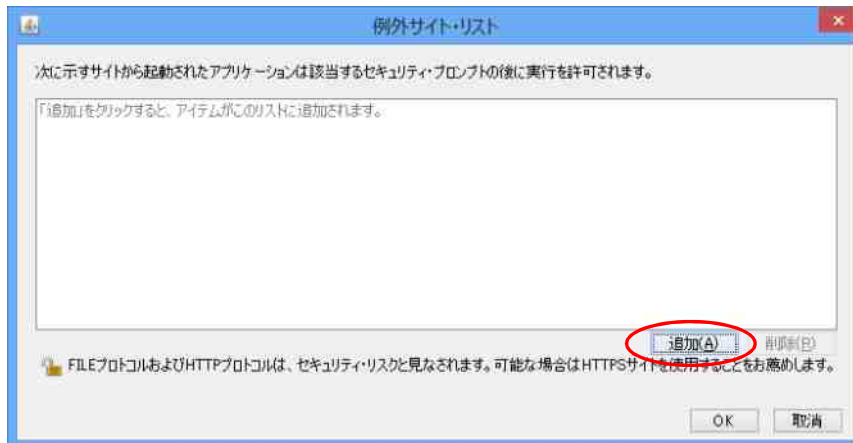


図7-2 例外サイト・リスト画面(入力前)

Step 4

追加された欄に以下の URL のうち1つを入力して「追加」をボタンクリックし、さらに追加された欄にもう1つの URL を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

登録するURL 「<https://www.chiba-ep-bid.supercals.jp>」
「<https://www.chiba-ep-bis.supercals.jp>」

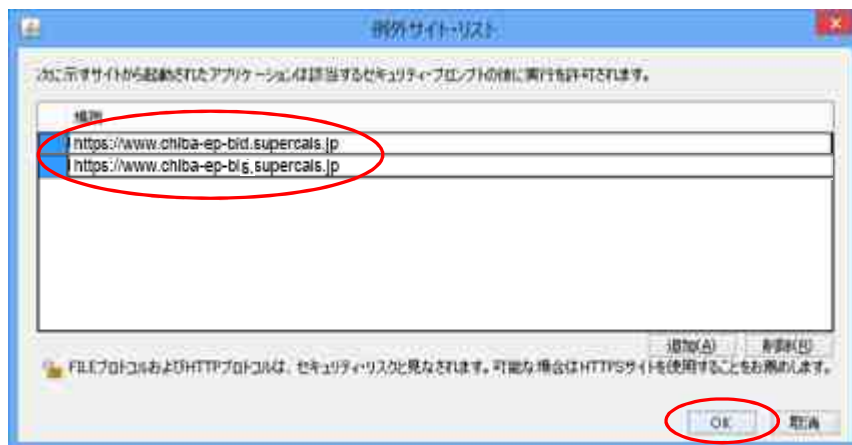


図7-3 例外サイト・リスト画面(入力後)

Step 5

「Javaコントロールパネル」の「例外サイト・リスト」欄に2つのURLが追加されている事を確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。

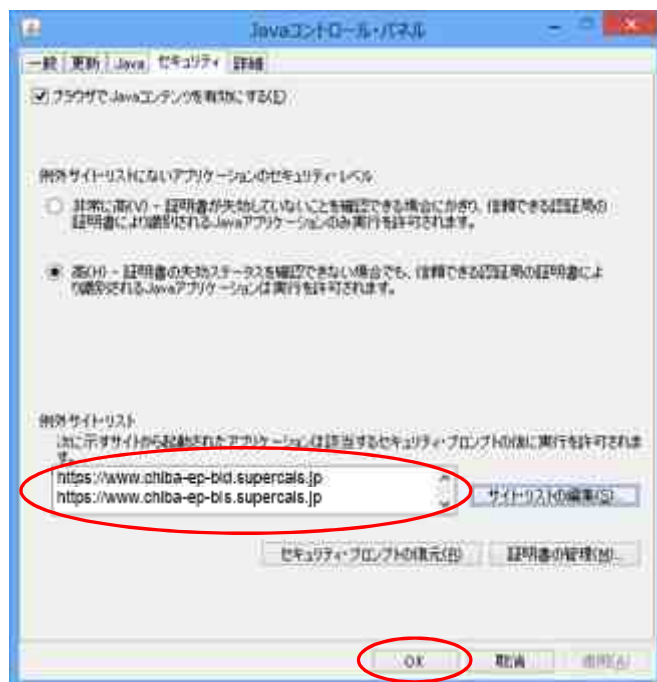


図7-4 Javaコントロールパネル画面 (セキュリティタブ)

第 8 章 Java ポリシー設定ツールのダウンロード (ケース)

8.1 Java ポリシー設定ツールのダウンロード

千葉県電子自治体共同運営協議会のマニュアルページから、「少額物品案件(電子入札/入札情報)Java ポリシー設定ツール」をダウンロードします。

Step 1

マニュアルページの「少額物品案件(電子入札/入札情報)Java ポリシー設定ツール」の「ダウンロード」をクリックします。

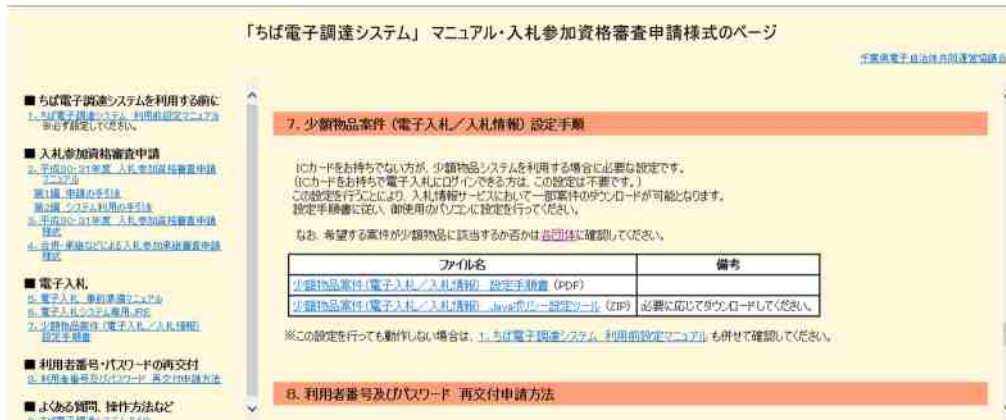


図8-1 マニュアルページ

Step 2

画面下部に表示されるダウンロード通知画面から「保存(S)」の をクリックし、表示される一覧から「名前を付けて保存(A)」をクリックします。

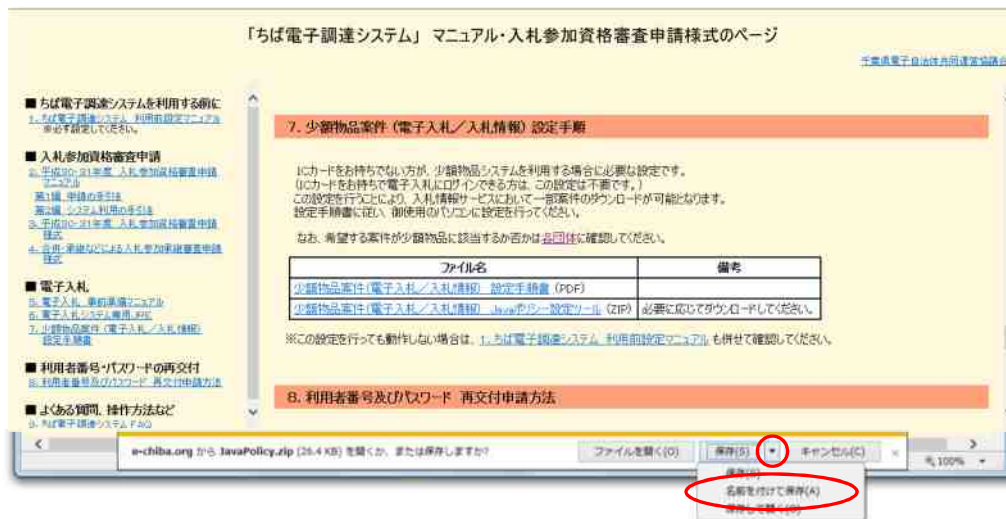


図8-2 ダウンロード通知画面(例: Internet Explorer 11)



ご利用のパソコン環境によっては、ダウンロード通知画面が表示されずに、「図 8-6 ファイル表示画面」が表示される場合もあります。その際は、第9章へお進みください。

Step 3

「デスクトップ」をクリックして、「保存(S)」ボタンをクリックします。

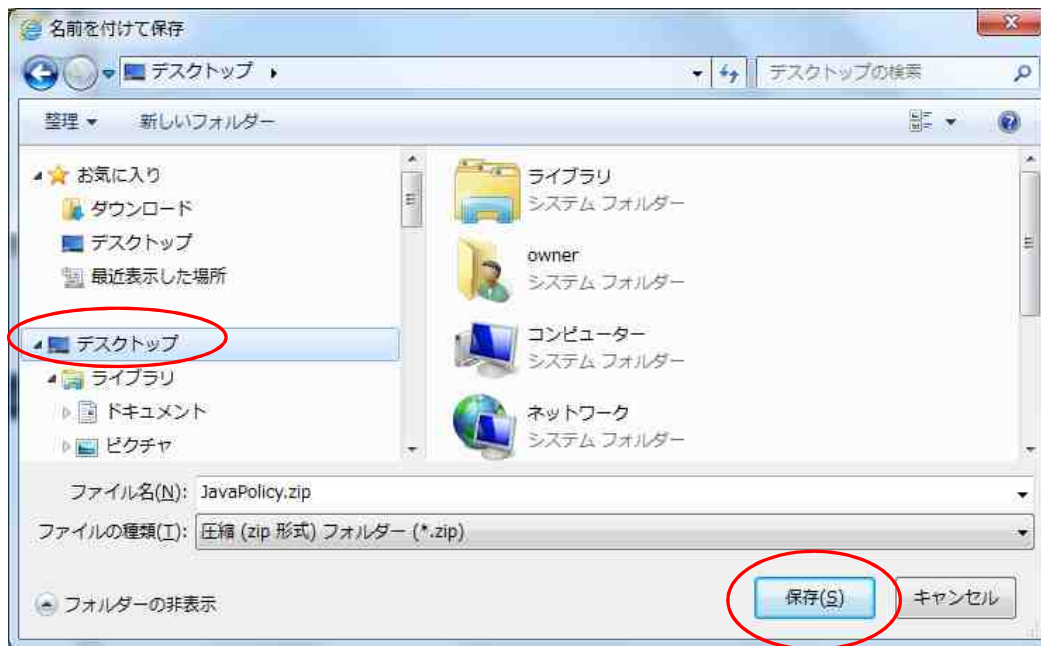


図8-3 保存先指定画面

Step 4

デスクトップに保存した「JavaPolicy.zip」をダブルクリックします。
次に、「ファイルをすべて展開」をクリックします。

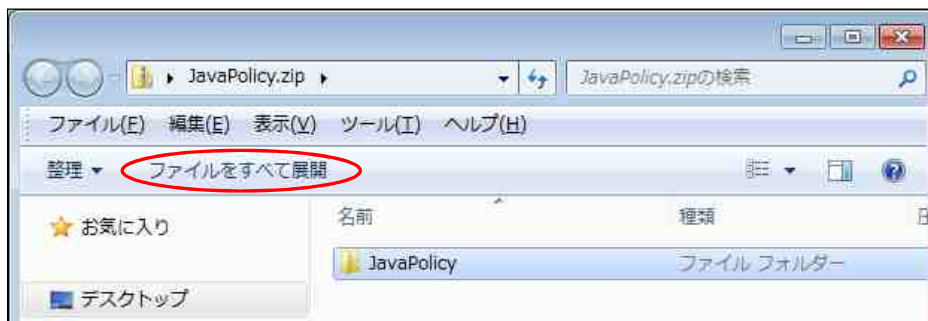


図8-4 JavaPolicy.zip ダブルクリック後の画面

Step 5

圧縮フォルダの展開画面が表示されますので、「展開(E)」ボタンをクリックします。

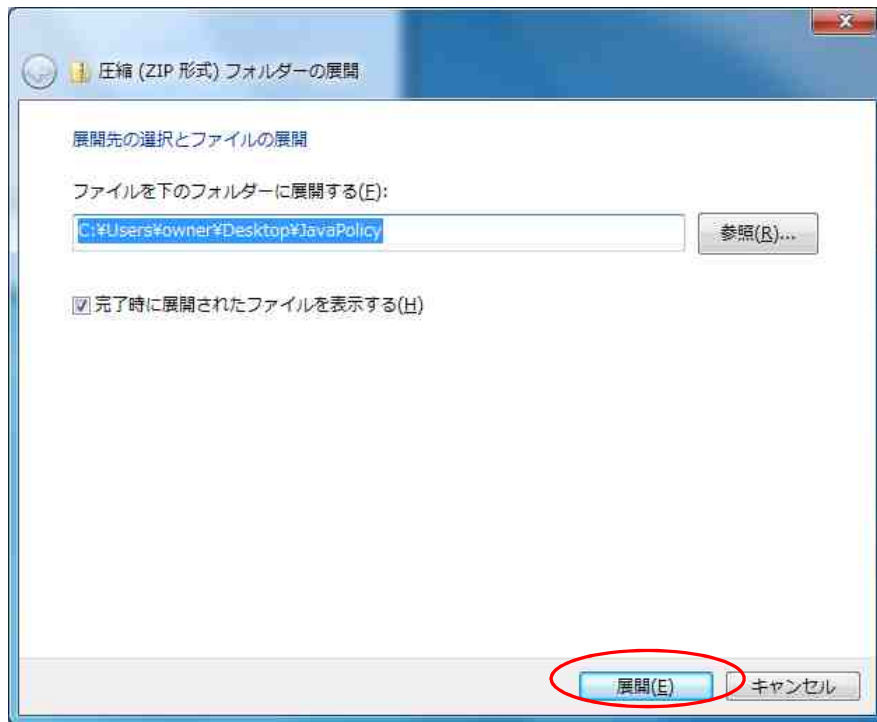


図8-5 圧縮フォルダの展開画面

展開が完了しましたら以下の画面が表示されますので、第9章へお進みください。

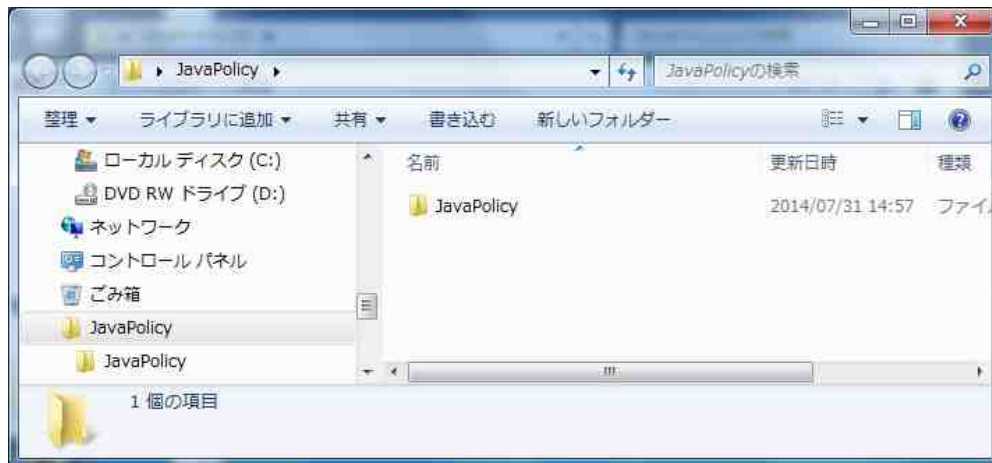


図8-6 ファイル表示画面

第9章 Java ポリシーの設定 (ケース)

9.1 Java ポリシーの設定

Step 1

「JavaPolicy」フォルダを開き、「Java ポリシー設定.bat」を右クリックし、「管理者として実行」をクリックしてください。
「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示されたら「はい」を選択します。

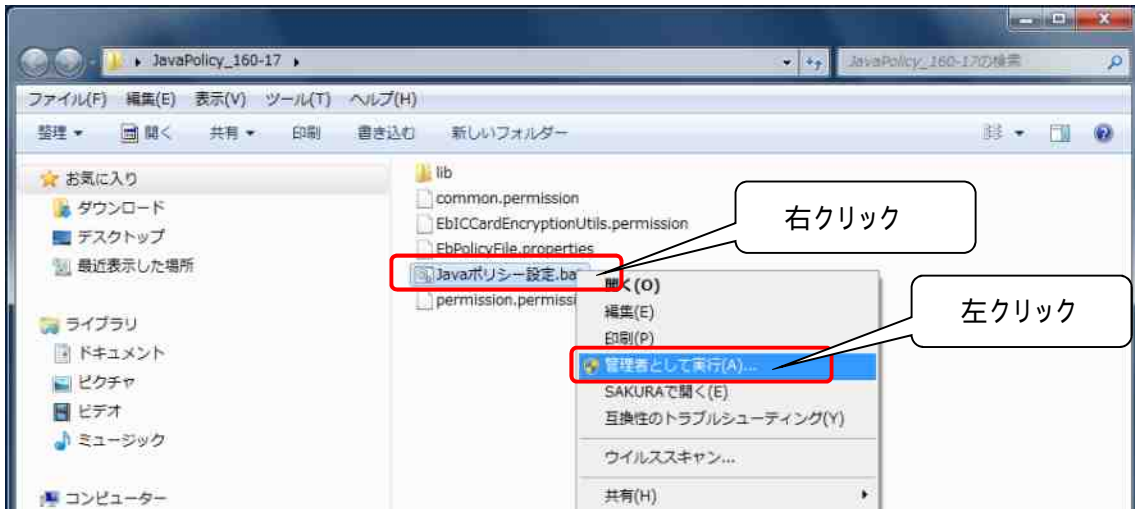


図9-1 JavaPolicyフォルダ画面



「図 9-2 スタート.bat 実行画面」が表示され、しばらくすると「図 9-3 java.policy ファイル設定ツール画面」に変わります。操作せずにお待ちください。

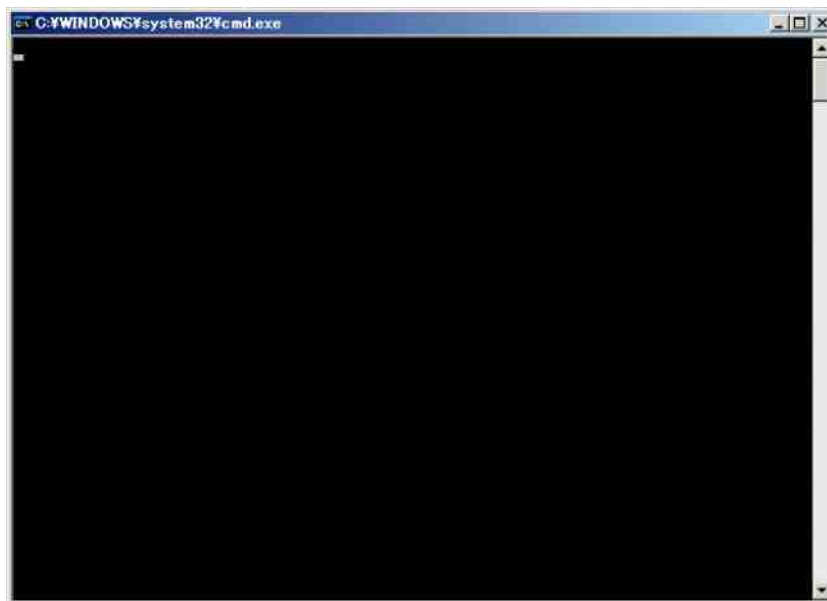


図9-2 スタート.bat 実行画面



図9-3 java.policy ファイル設定ツール画面

< 操作手順 >

注機関名、発注機関URLを入力します。

発注機関名 「ちば電子調達少額物品」

発注機関URL 「<https://www.chiba-ep-bid.supercals.jp>」

登録ボタンを押します。

登録を実行してもよければ「はい」ボタンを押します。

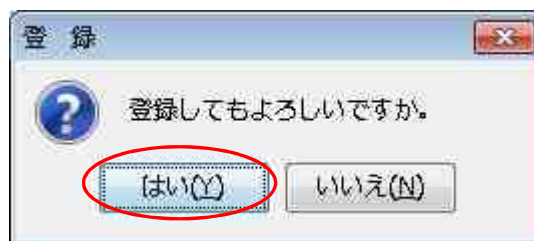


図9-4 登録確認画面

登録済み発注機関に「電子入札」と表示されたら登録完了です。

なお、本ツールにより、java.policy ファイルを変更するたびに自動的にバックアップファイルが作成されます。

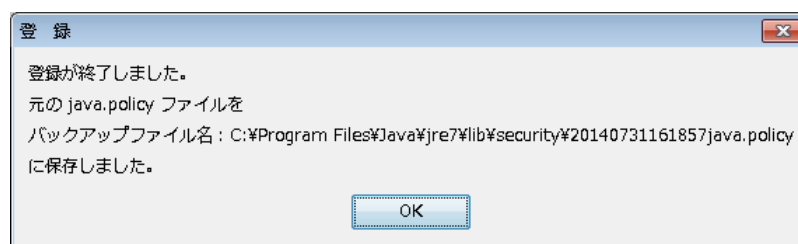


図9-5 登録完了画面

OKボタンを押し、登録完了画面を閉じます。

java.policy ファイル設定ツールの終了ボタンを押し、画面を閉じます。

Javaポリシーの設定は以上で完了です。